資料２

こどもの意見聴取の取り組みについて

（R8 年度高校生と市長の意見交換会）

１ 実施概要

日時：令和8年8月 18 日(火)13:30～15:30
会場：学びと交流の場 SANKAKU「Port」
参加者：市内在住の高校生 18 名、市長、関係職員
テーマ：「新潟市が元気がある都市となるためには？」
　　「市民から住みやすい都市として選ばれるためには？」

２ 高校生から出された主な意見

(1)公共交通の利便性向上

・バス・鉄道の運行本数が少なく、乗り遅れた場合の待ち時間が長い。
・朝の時間帯を中心に混雑が見られる。特に新潟駅南口方面への交通手段の充実。
・大型・連節バス、小型バス等を含めた交通手段の検討や、運行情報の充実。
・交通の不便さが、施設や遊び場があっても「行きたい場所に行けない」ことにつながっている。

(2)高校生が利用しやすい居場所・交流の場

・高校生が友人と気軽に過ごせる、無料又は低廉で、冷暖房等の環境が整った場所が少ない。
・勉強、会話、交流等を目的として利用できる場所の充実。
・レクリエーション・スポーツ施設やイベント等が中央区、新潟駅・万代周辺に集中している。
・閉校施設や既存施設等を活用し、中央区以外にも若者が集える拠点を設けること。
・遊園地、動物園、テーマパーク等のレジャー施設が欲しい。

(3)安全・安心な生活環境の確保

・放課後や夜間における道路・歩道等の暗さについて、街灯の増設。
・新潟駅南口周辺で夜は酔った人が多かったりちょっと怖いので夜間の安全性への懸念。
・高校生は自転車利用者が多いので自転車交通の利便性、安全性を高めてほしい。

(4)新潟市の魅力・地域資源の発信強化

・食、海、自然、湿地・湖沼、マンガ・アニメ等を新潟市の強みとして評価。
・マンガ・アニメについて、制作過程や歴史、体験型展示等、高校生・大人も楽しめる施設・コンテンツについて。
・既存の観光・交流資源等について、より効果的に情報発信し、活用すること。
・単に都市機能を高度化するのではなく、「新潟らしさ」を生かしたまちづくり。

(5)若者の定着・回帰につながる環境整備
・大学進学・就職等で市外へ転出した若者が、将来的に新潟市へ戻りたいと思える環境づくり。
・若者の流出抑制のみならず、市内に残る・戻る若者への施策も重要。
・市内企業、特に理系・技術系企業等について知る機会の充実。
・高校生・大学生がまちづくりに参加し、意見を表明する機会の拡充。
・若者自身が主体となってまちづくりを企画・実施するイベント・機会づくり。

3 高校生からの意見反映の方向性

(1)公共交通の利便性向上
➡バスの運行本数が少なくならないよう、高校生世代に対して「りゅーとポイント」3,000 千円プレゼントキャンペーンを実施するなど、幅広い世代に公共交通を利用いただけるよう取り組んでおり、引き続き公共交通ネットワークの確保・維持に努めます。

(2)高校生が利用しやすい居場所・交流の場
➡各公民館において、こども・青少年の居場所づくりに取り組んでおり、特に共有スペースを学習スペースとして提供する館も多いので、より多くの高校生にご利用いただけるよう、情報発信を強化します。
また、令和9年度に向けて友人と気軽に話しながら勉強などができる居場所の設置を検討していきます。

(3)安全・安心な生活環境の確保
➡交通安全推進協議会を通じた危険個所の点検及び対策等に取り組んでおり、また、青少年育成員による新潟駅・万代シテイ周辺の街頭や商業施設の見回り活動など通じて夜間の安全確保にも努めていきます。

(4)新潟市の魅力・地域資源の発信強化
➡新潟市のおいしい枝豆やルレクチェといった農産品や、ラムサール条約湿地「佐潟」など豊かな自然、マンガアニメ情報館やマンガの家を拠点としたマンガ・アニメを活用したまちづくりについて、積極的に全国に向け PR していきます。

(5)若者の定着・回帰につながる環境整備
➡今年度より、新潟市内の大学生と地域活動に取り組む人が交流するイベント「にいがたむすび」をスタートさせ、若者が新潟ならではの食や地域を知り、にいがたの「面白い」、「おいしい」を見つけることで地域とのつながりを持ってもらう取組を始めています。